

## 2024年11月期 中間決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年7月12日

上場会社名 株式会社RAVIPA 上場取引所 東  
コード番号 5893 URL https://ravipa.co.jp/  
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 新井 亨  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 渡部 颯太 (TEL)03(6907)3950  
中間発行情報提出予定日 2024年8月30日 配当支払開始予定日 —  
中間決算補足説明資料作成の有無 : 無  
中間決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年11月期中間期の連結業績(2023年12月1日~2024年5月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は、対前年同期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年11月期中間期	792	40.0	33	—	33	—	26	—
2023年11月期中間期	565	—	△16	—	△11	—	△17	—

(注) 中間包括利益 2024年11月期中間期 26百万円(—%) 2023年11月期中間期 △17百万円(—%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年11月期中間期	13.53	—
2023年11月期中間期	△8.89	—

- (注) 1. 2023年11月期より中間連結財務諸表を作成しているため、2023年11月期中間期の対前年同期増減率については記載しておりません。  
2. 2023年11月期中間期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。2024年11月期中間期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年11月期中間期	542	111	20.5
2023年11月期	380	84	22.2

(参考) 自己資本 2024年11月期中間期 111百万円 2023年11月期 84百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年11月期(中間期)	24	4	125	331
2023年11月期(中間期)	△20	△1	△35	176

## 2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2023年11月期	0.00	0.00	0.00
2024年11月期	0.00		
2024年11月期(予想)		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年11月期の連結業績予想（2023年12月1日～2024年11月30日）

（％表示は、対前期増減率）

通 期	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	1,421	7.0	66	48.2	64	31.6	42	13.6	21.51

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

（1）当中間連結会計期間における重要な子会社の異動 : 無

（2）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年11月期中間期	1,980,000株	23年11月期	1,980,000株
24年11月期中間期	-株	23年11月期	-株
24年11月期中間期	1,980,000株	23年11月期中間期	1,980,000株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人の中間監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、中間決算短信（添付資料）3ページの「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する説明.....	2
(2) 財政状態に関する説明.....	3
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明.....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記.....	4
(1) 中間連結貸借対照表.....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書.....	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書.....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項.....	10
(継続企業の前提に関する注記).....	10
(セグメント情報).....	10
(重要な後発事象).....	12

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2023年12月1日から2024年5月31日)における我が国経済は、経済活動の正常化が進んだことで国内景気は回復傾向の動きが鮮明になりました。

一方で中東地域をめぐる情勢や物価上昇、円安の進行等に伴い依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが事業展開する化粧品に関わる商品の通信販売は、物価の上昇が続く一方で外出機会の増加や賃上げ等により消費マインドの改善がみられました。

主力事業である通信販売事業を推し進めていくとともに、D2C事業者の支援業務を展開するコールセンター事業やコンサルティング事業を通じて業界全体を下支えしてまいります。

これらの結果、当中間連結会計年度の売上高は792,417千円(前年同期比40.0%増)、営業利益は33,787千円(前年同期は営業損失16,571千円)、経常利益は33,256千円(前年同期は経常損失11,814千円)、親会社株主に帰属する中間純利益は26,790千円(前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失17,593千円)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### (通販事業)

通販事業におきましては、女性用育毛剤「Hairmore」、及び美容化粧品「ASHADA」を主力ブランドとして、各商品についてインターネット広告を通じ積極的に宣伝活動を行いました。

広告宣伝活動を活発に行った影響で自社サイトでの購買が増加したほか、モールサイトでの購入量も増加し、通販事業における売上高は605,190千円(前年同期比62.9%増)、セグメント利益は83,469千円(前年同期比96.0%増)となりました。

#### (コールセンター事業)

コールセンター事業におきましては、コールセンター受注業務を請け負っている取引業者の業績好調を背景に堅調に推移しました。今後も更なる対応品質向上や人材の確保に努めることで規模の拡大を目指します。

コールセンター事業における売上高は99,206千円(前年同期比17.9%増)、セグメント利益は26,300千円(前年同期比68.4%増)となりました。

#### (コンサルティング事業)

コンサルティング事業におきましては、新規に通販事業の立ち上げや業務改善を望む顧客に向けたコンサルティング支援業務を行っております。書籍の出版やメディアへの露出によって更なる顧客獲得を目指します。コンサルティング事業の売上高は9,282千円(前年同期比40.3%減)、セグメント損失は1,341千円(前年同期はセグメント利益3,252千円)となりました。

#### (飲食事業)

飲食事業におきましては、人流が徐々に拡大し個人消費の回復は見られているものの、物価の上昇が続いており依然として厳しい環境が続いております。こうした環境下において様々な経営改善を行ってまいりましたが、著しい改善を行うことが難しく店舗数の削減に踏み切り、飲食事業における売上高は78,737千円(前年同期比16.7%減)、セグメント損失は14,096千円(前年同期はセグメント損失20,323千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当中間連結会計期間末における流動資産の残高は493,931千円で、前連結会計年度末に比べ174,023千円増加しております。現金及び預金の増加153,807千円、売掛金の増加28,334千円、商品の減少11,168千円が主な変動要因であります。

(固定資産)

当中間連結会計期間末における固定資産の残高は48,756千円で、前連結会計年度末に比べ12,076千円減少しております。建物及び構築物の減少5,591千円、差入保証金の減少4,644千円が主な変動要因であります。

(流動負債)

当中間連結会計期間末における流動負債の残高は200,599千円で、前連結会計年度末に比べ53,066千円増加しております。1年内返済予定の長期借入金の増加40,020千円、未払金の増加19,561千円、未払費用の減少5,030千円が主な変動要因であります。

(固定負債)

当中間連結会計期間末における固定負債の残高は230,713千円で、前連結会計年度末に比べ82,090千円増加しております。長期借入金の増加85,329千円、資産除去債務の減少3,238千円が変動要因であります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産の残高は111,374千円で、前連結会計年度末に比べ26,790千円増加しております。利益剰余金の増加26,790千円が変動要因であります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は331,367千円（前連結会計年度末比153,807千円増加）となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は24,109千円（前年同期は20,875千円の使用）となりました。主な内訳は、税金等調整前中間純利益の計上33,629千円に加え、売上債権の増加額28,334千円、未払金の増加額19,561千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、獲得した資金は4,348千円（前年同期は1,500千円の使用）となりました。主な内訳は、有形固定資産の売却による収入4,603千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、獲得した資金は125,349千円（前年同期は35,143千円の使用）となりました。内訳は、長期借入れによる収入195,000千円、長期借入金の返済による支出69,651千円によるものであります。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

2024年11月期の業績予想につきましては、変更はありません。

なお、今後、業績等に重大な影響を及ぼす事象が生じた場合には速やかに開示いたします。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

### (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当中間連結会計期間 (2024年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	177,560	331,367
売掛金	56,294	84,628
商品	58,906	47,737
貯蔵品	9,409	14,056
未収還付法人税等	965	288
その他	16,772	15,851
流動資産合計	319,908	493,931
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	70,338	64,747
工具、器具及び備品	18,326	16,973
減価償却累計額	△21,704	△21,242
減損損失累計額	△47,913	△48,863
有形固定資産合計	19,045	11,614
投資その他の資産		
差入保証金	36,645	32,001
繰延税金資産	2,116	4,814
その他	3,024	325
投資その他の資産合計	41,786	37,141
固定資産合計	60,832	48,756
資産合計	380,740	542,687

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当中間連結会計期間 (2024年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	12,682	8,300
1年内返済予定の長期借入金	64,332	104,352
未払金	25,290	44,852
未払費用	18,936	13,906
未払法人税等	8,612	9,536
未払消費税等	9,171	9,234
契約負債	593	355
賞与引当金	5,411	4,402
その他	2,502	5,659
流動負債合計	147,532	200,599
固定負債		
長期借入金	124,337	209,666
資産除去債務	24,286	21,047
固定負債合計	148,623	230,713
負債合計	296,156	431,313
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,900	9,900
利益剰余金	74,683	101,474
株主資本合計	84,583	111,374
純資産合計	84,583	111,374
負債純資産合計	380,740	542,687

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)	当中間連結会計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)
売上高	565,825	792,417
売上原価	133,644	158,510
売上総利益	432,181	633,906
販売費及び一般管理費	448,752	600,118
営業利益又は営業損失 (△)	△16,571	33,787
営業外収益		
受取利息	1	0
助成金等収入	4,860	—
その他	1,424	1,193
営業外収益合計	6,285	1,194
営業外費用		
支払利息	1,376	1,704
その他	151	19
営業外費用合計	1,528	1,724
経常利益又は経常損失 (△)	△11,814	33,256
特別利益		
固定資産売却益	—	3,250
特別利益合計	—	3,250
特別損失		
減損損失	—	2,878
特別損失合計	—	2,878
税金等調整前中間純利益又は 税金等調整前中間純損失 (△)	△11,814	33,629
法人税、住民税及び事業税	6,060	9,536
法人税等調整額	△281	△2,697
法人税等合計	5,778	6,838
中間純利益又は中間純損失 (△)	△17,593	26,790
親会社株主に帰属する中間純利益又は 親会社株主に帰属する中間純損失 (△)	△17,593	26,790

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)	当中間連結会計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)
中間純利益又は中間純損失 (△)	△17,593	26,790
中間包括利益	△17,593	26,790
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△17,593	26,790

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)	当中間連結会計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は 税金等調整前中間純損失(△)	△11,814	33,629
減価償却費	1,993	1,292
受取利息	△1	△0
支払利息	1,376	1,704
固定資産売却益	—	△3,250
助成金等収入	△4,860	—
減損損失	—	2,878
売上債権の増減額(△は増加)	△17,541	△28,334
棚卸資産の増減額(△は増加)	△53,658	6,520
仕入債務の増減額(△は減少)	2,320	△4,382
未払金の増減額(△は減少)	42,173	19,561
未払費用の増減額(△は減少)	9	△5,030
未払消費税等の増減額(△は減少)	△304	63
契約負債の増減額(△は減少)	△357	△238
賞与引当金の増減額(△は減少)	449	△1,008
その他	2,013	10,435
小計	△38,200	33,840
利息の受取額	1	0
利息の支払額	△1,376	△1,796
法人税等の支払額	△7,734	△8,612
法人税等の還付額	21,575	676
助成金の受取額	4,860	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△20,875	24,109
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	—	△245
有形固定資産の売却による収入	—	4,603
差入保証金の差入による支出	△1,500	—
出資金の払込による支出	—	△10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,500	4,348

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)	当中間連結会計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	40,000	195,000
長期借入金の返済による支出	△75,143	△69,651
財務活動によるキャッシュ・フロー	△35,143	125,349
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△57,518	153,807
現金及び現金同等物の期首残高	233,944	177,560
現金及び現金同等物の中間期末残高	176,425	331,367

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは各事業会社が運営している施設や事業所が提供しているサービスの類似性を考慮したセグメントから構成されており、「通販事業」、「コールセンター事業」、「コンサルティング事業」、「飲食事業」の4つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「通販事業」は主に女性用育毛剤「Hairmore」、美容液「ASHADA」の企画及び販売を行っております。

「コールセンター事業」は通販事業者向けコールセンター業務を受託しております。

「コンサルティング事業」は教育コンテンツ販売、通販事業の運営コンサルティング業務を行っております。

「飲食事業」はCafé 業態1店舗を展開しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、中間連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場価格等を勘案して決定しております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前中間連結会計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	中間連結財務諸表計上額 (注) 2
	通販事業	コールセンター事業	コンサルティング事業	飲食事業	計		
売上高							
一時点で移転される財	371,568	—	—	94,557	466,126	—	466,126
一定の期間にわたり移転される財	—	84,157	15,541	—	99,699	—	99,699
顧客との契約から生じる収益	371,568	84,157	15,541	94,557	565,825	—	565,825
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	371,568	84,157	15,541	94,557	565,825	—	565,825
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11,600	21,000	3,450	—	36,050	△36,050	—
計	383,168	105,157	18,991	94,557	601,875	△36,050	565,825
セグメント利益または損失 (△)	42,583	15,614	3,252	△20,323	41,127	△57,698	△16,571
セグメント資産	126,246	87,223	17,619	53,454	284,544	120,287	404,831
その他の項目 減価償却費	4	420	—	1,359	1,784	208	1,993

(注) 1. セグメント利益または損失(△)の調整額△57,698千円は、セグメント間の取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

セグメント資産の調整額120,287千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、主に当社の運用資金(現金及び預金)及び管理部門に係る資産であります。

2. セグメント利益または損失(△)の合計額は、中間連結財務諸表の営業損失(△)と一致しております。

当中間連結会計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	中間連結財 務諸表計上 額 (注) 2
	通販 事業	コール センター 事業	コンサル ティング 事業	飲食 事業	計		
売上高							
一時点で移転される財	605,190	—	—	78,737	683,928	—	683,928
一定の期間にわたり移転さ れる財	—	99,206	9,282	—	108,488	—	108,488
顧客との契約から生じる収益	605,190	99,206	9,282	78,737	792,417	—	792,417
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	605,190	99,206	9,282	78,737	792,417	—	792,417
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12,305	21,000	4,500	—	37,805	△37,805	—
計	617,495	120,206	13,782	78,737	830,222	△37,805	792,417
セグメント利益または損失 (△)	83,469	26,300	△1,341	△14,096	94,332	△60,545	33,787
セグメント資産	126,124	112,201	14,539	23,186	276,051	266,636	542,687
その他の項目							
減価償却費	4	411	—	668	1,084	208	1,292
減損損失	—	—	—	2,878	2,878	—	2,878

(注) 1. セグメント利益または損失(△)の調整額△60,545千円は、セグメント間の取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

セグメント資産の調整額266,636千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、主に当社の運用資金(現金及び預金)及び管理部門に係る資産であります。

2. セグメント利益または損失(△)の合計額は、中間連結財務諸表の営業利益と一致しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。